

幾原雄一教授(PI)が「フンボルト賞」を受賞しました。

ドイツのアレキサンダー・フォン・フンボルト財団は、本年度の「フンボルト賞」を、東北大学WPI-AIMRのPIである幾原雄一教授(東京大学教授、JFCC主管研究員)に贈ることを発表した。同賞は、ドイツ政府の国際的学術活動機関である[アレキサンダー・フォン・フンボルト財団](#)が創設した賞である。人文、社会、理、工、医、農学の各分野において、基本的な発見もしくは新しい理論によって後世に残る重要な業績を挙げ、今後も学問の最先端で活躍すると期待される国際的に著名な研究者に対して授与されるもので、幾原PIは材料科学分野における日本人としては3人目の受賞者となった。授賞式は2011年3月24日-27日にドイツにおいて行われ、同6月にはドイツ大統領官邸ベルビュー宮殿で大統領主催のレセプションに参加する。